

令和3年度給与改定（第5回）団体交渉

① 日 時 令和3年11月19日（金）0時16分～0時17分

② 場 所 東京区政会館20階203会議室

③ 出席者

（当局）佐藤副区長会会長（荒川）、橋本副区長会副会長（板橋）、
高野副区長会副会長（墨田）、齊藤副区長（中央）、荒川副区長（台東）、
川野副区長（大田）、小西副区長（練馬）、押田副区長（江東）、
入澤副管理者、小林人事企画部長、小池調査課長、金子勤労課長、
林労務・制度改革担当課長

（組合）江森委員長、西村副委員長、坂部副委員長、多田書記長、渡辺書記次長、
泉田常任中央執行委員、栗澤常任中央執行委員、森田常任中央執行委員、
高橋常任中央執行委員、萩原常任中央執行委員、渡辺常任中央執行委員

④ 発言要旨

〈清掃労組〉

本年の人事委員会勧告は、2年連続となる一時金の引下げという大変厳しい内容でした。

コロナ禍において、区民の衛生環境を、今もなお懸命に守り続けている職員にとって、受け入れがたい内容であり、私どもとしては苦渋の決断となりました。

人事委員会に対する公民比較方法の見直しに向けた働きかけや、各区における差額支給者の解消について、区長会のみなさんのご尽力をお願いします。

また、引き続き協議となった定年引上げに係る60歳超の賃金水準を含む課題の解決に向け、改めて精力的な協議をお願いし、先ほど皆さんから示された、本年度の賃金改定を始めとする諸課題に関する最終判断と提案を受け入れることとします。

〈当局〉

妥結のご回答をいただき、ありがとうございます。